



県道三夜沢国定停車場線(深津工区) 歩道整備



一級河川寺沢川 河川改修



県道南新井前橋線(2期工区) バイパス整備

よ く わ か る
公 共 事 業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

前橋地域

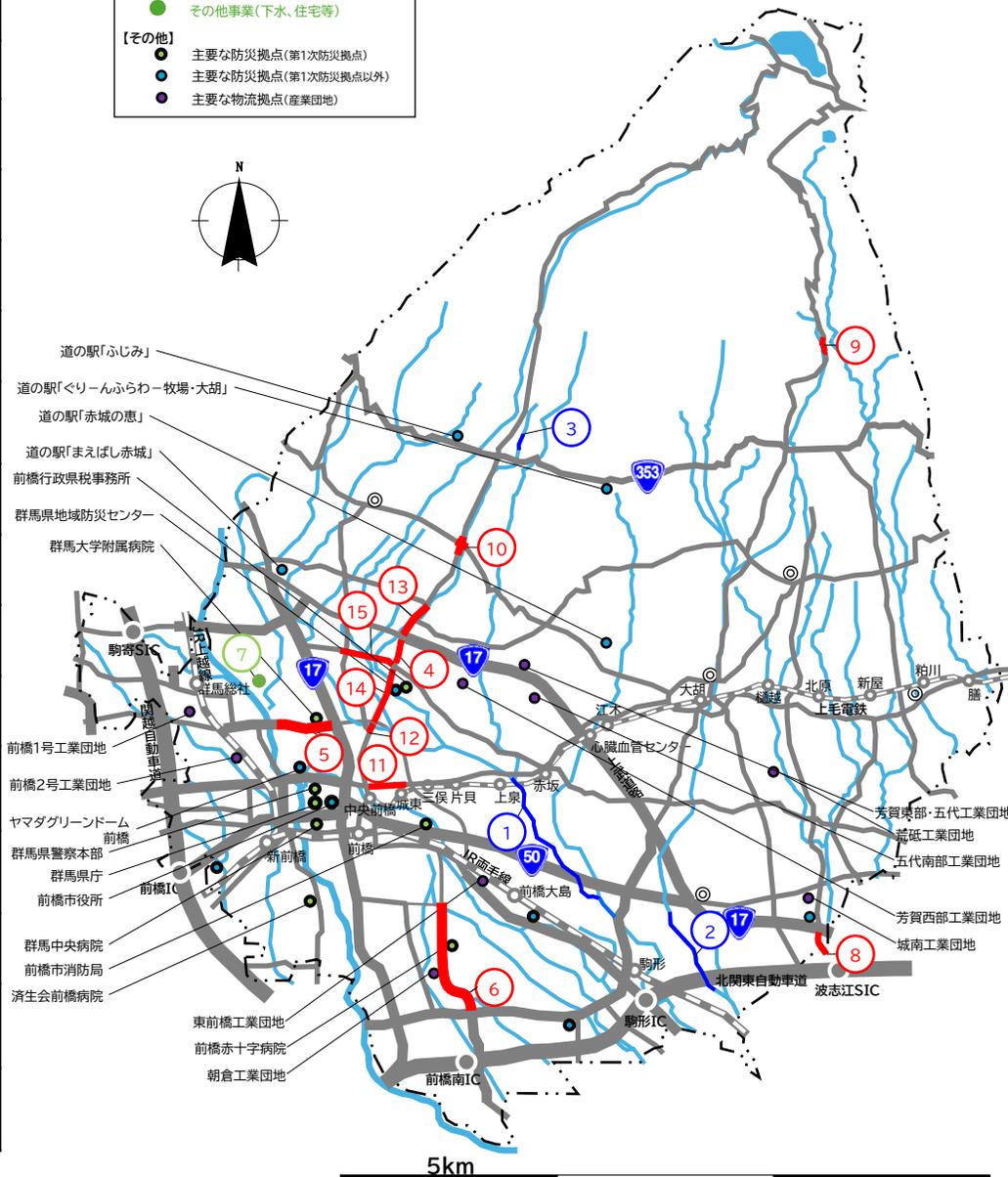
令和7年度版

前橋地域



番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
1	堤防強化	前橋市小島田町～上泉町	一級河川桃ノ木川	1
2		前橋市二之宮町～今井町	一級河川荒砥川	2
3	河川改修	前橋市富士見町皆沢	一級河川竜の口川	3
4	電線共同溝	前橋市上細井町	県道前橋赤城線(上細井町工区)	4
5		前橋市国領町	県道前橋箕郷線(国領町工区)	5
6	バイパス整備	前橋市朝倉町～下佐烏町	県道前橋玉村線(朝倉工区)	6
7	水泳場整備	前橋市敷島町	敷島公園	7
8	道路新設	前橋市飯土井町～伊勢崎市波志江町	県道苗ヶ島飯土井線(波志江スマートICアクセス)	8
9	現道拡幅	前橋市苗ヶ島町	県道大胡赤城線(赤城温泉1工区)	9
10	電線共同溝	前橋市富士見町小暮	県道前橋赤城線(小暮交差点工区)	10
11		前橋市城東町	県道前橋大間々桐生線(城東町工区)	11
12		前橋市北代田町～若宮町	県道前橋赤城線(北代田町工区)	12
13	歩道整備	前橋市富士見町時沢	県道前橋赤城線(時沢工区)	13
14		前橋市北代田町～上細井町	(都)赤城山線	14
15		前橋市青柳町～上細井町	(都)敷島公園大師線(2期工区)	15

- 凡例**
- 【事業分野区分】
- 道路事業
 - 河川事業
 - 砂防事業
 - その他事業(下水、住宅等)
- 【その他】
- 主要な防災拠点(第1次防災拠点)
 - 主要な防災拠点(第1次防災拠点以外)
 - 主要な物流拠点(産業団地)



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

堤防の弱点を改善して
 堤防を強化します

地元の声

- 大雨の際に川の水位が上がって、堤防が壊れてしまう心配がある。(地域住民)



事業の概要

- 事業箇所: 前橋市小島田町～上泉町
- 事業内容: 堤防強化 延長 3,300m
- 事業期間: 令和5年度～

事業前

河川水位が高い状況が続くと、堤防内に河川水が浸透し、漏水をきっかけに決壊するおそれがあります。

イメージ図

事業前の状況

事業後

堤防に浸透した水を速やかに排水する構造にし、堤防が強化されます。

イメージ図

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
洪水時に水位が高い状態が続いた時*の堤防の安全性	△: 決壊のおそれあり

実施後(目標)
○: 安全

*記録が残る過去の降雨から、最も堤防に河川水が浸透する条件を想定

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は詳細設計、用地測量を実施します。



一級河川 荒砥川 堤防強化事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

堤防の弱点を改善して 堤防を強化します

地元の声

・大雨の際に川の水位が上がって、堤防が壊れてしまう心配がある。(地域住民)

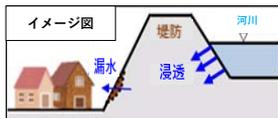


事業の概要

- 事業箇所:前橋市二之宮町～今井町
- 事業内容:堤防強化 延長 2,470m
- 事業期間:令和6年度～

事業前

- ◆ 河川水位が高い状況が続くと、堤防内に河川水が浸透し、漏水をきっかけに決壊するおそれがあります。

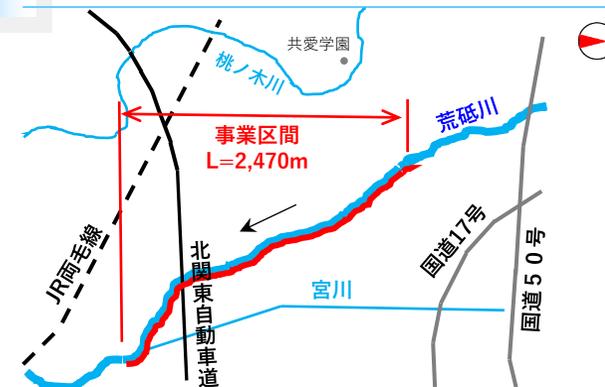


事業後

- ◆ 堤防に浸透した水を速やかに排水する構造にし、堤防が強化されます。



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は詳細設計、用地測量を実施します。



成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
洪水時に水位が高い状態が続いた時*の堤防の安全性	△:決壊のおそれあり	○:安全

※記録が残る過去の降雨から、最も堤防に河川水が浸透する条件を想定

事業のすすみ具合

事業開始 ●



● 事業完了

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を広げて流せる水の量を増やします

地元の声
 ・令和元年東日本台風の際に川が氾濫したため、早く整備してほしい。(地元住民)



- 事業の概要**
- 事業箇所: 前橋市富士見町皆沢
 - 事業内容: 河道拡幅 延長280m
 - 事業期間: 令和3年度～

- 現況流下能力: 約4m³/s
- 計画流量 : 9m³/s

事業前
 ◆ 川の断面が小さく、洪水時に氾濫するおそれがあります。



事業前の状況 (令和元年東日本台風時)

事業後
 ◆ 川幅を広げることで流せる水の量を増やし、川の氾濫による被害のリスクを軽減させます。

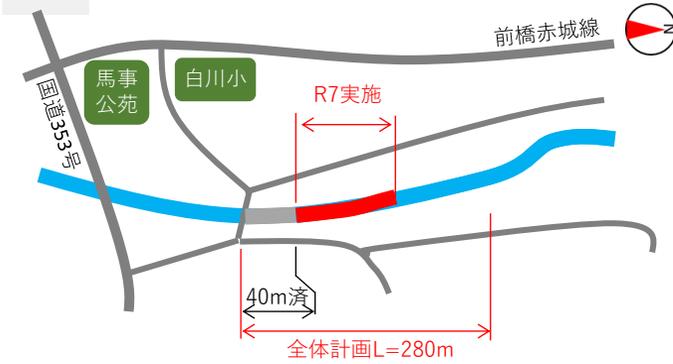


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
令和元年東日本台風と同規模の降雨	被害あり

実施後(目標)
被害なし

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか
 令和7年度は、護岸工事を進めます。



令和7年3月の施工状況

県道前橋赤城線（上細井工区）電線共同溝事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して電柱を撤去します

地元の声

- ・災害時に電柱が道を塞がないようにしてほしい(地域住民)
- ・歩道を整備して、安全な通学路を確保してほしい(地域住民・小学校)

事業の概要

- 事業箇所: 前橋市上細井町
- 事業内容: 電線共同溝、歩道整備
延長1,400m
- 事業期間: 令和元年度～

■ 現在の交通量: 6,361台/日(自動車)
(R3年度) 34人/12時間(歩行者)
46台/12時間(自転車)

事業前

◆地震や暴風時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。また、歩道幅員が狭く、通学する児童の支障となっています。



事業前の状況

事業後

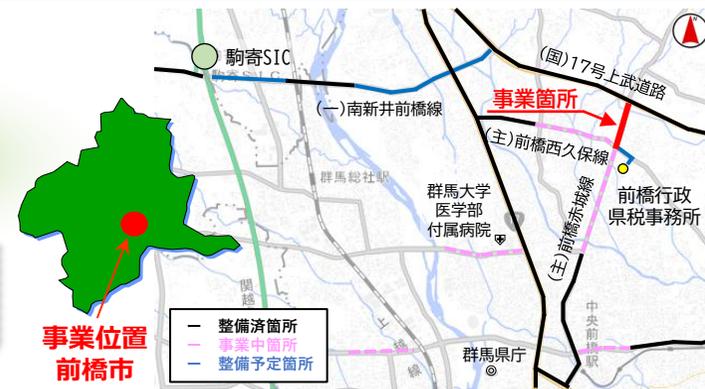
◆道路上の電柱がなくなり、歩道幅員が広がることで災害時でも安全な通行が確保されます。



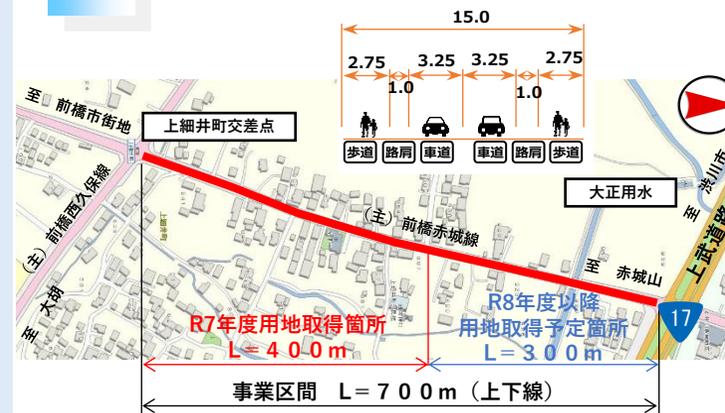
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
防災拠点と交通拠点間 (前橋行政県税事務所～駒寄IC) の無電柱化率	26.92%
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後(目標)
26.92%
なし



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、歩道拡幅のための用地取得を進めています。



県道前橋箕郷線（国領町工区）電線共同溝事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して電柱を撤去します

地元の声

- ・群大病院があるので災害時に電柱が道を塞がないようにしてほしい。(地元住民)
- ・歩行者の安全面を考えると電柱がない方が良い。(地元自治会)

事業の概要

- 事業箇所: 前橋市国領町～岩神町
- 事業内容: 電線共同溝 延長 2,200m
- 事業期間: 平成28年度～
- 現在の交通量: 22,578台/日(自動車) (R3年度)
- 359人/12時間(歩行者)
- 767台/12時間(自転車)

事業前

◆地震や暴風時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆道路上の電柱がなくなり、災害時でも安全な通行が確保されます。



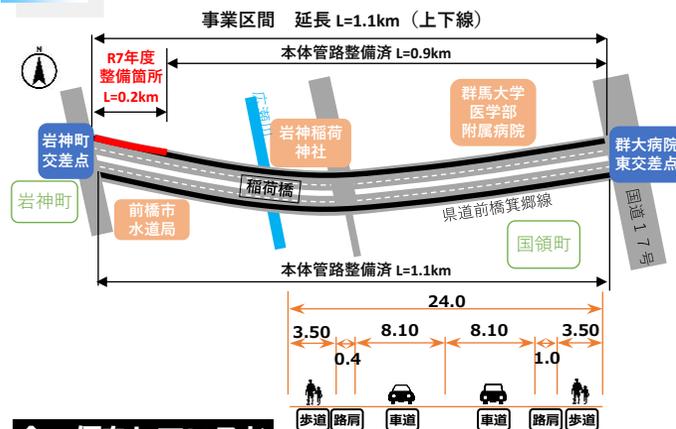
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
防災拠点間 (群馬大学附属病院～群馬県庁) の無電柱化率	62.07%
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後(目標)
100%
なし



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、電線共同溝の本体管路工事を実施します。



県道前橋玉村線（朝倉工区）バイパス整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・前橋赤十字病院が開院したので、災害時においても安全に通行できるようにしてほしい。(地元住民)
- ・東前橋工業団地や朝倉工業団地から前橋南ICへ向かうアクセス性を良くしてほしい。(道路利用者)



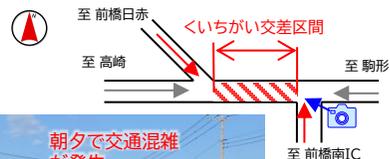
事業の概要

- 事業箇所: 前橋市朝倉町～下佐烏町
- 事業内容: バイパス整備 延長 2.8km 道路幅 25.0m
- 事業期間: 平成27年度～
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 重要物流道路: 一部該当(代替・補完路)

- 現在の交通量: 11,523台/日(現道 自動車)
8人/12時間(現道 歩行者)
93台/12時間(現道 自転車)
- 計画交通量: 25,300～37,000台/日(バイパス 自動車)
8,000台/日(現道 自動車)

事業前

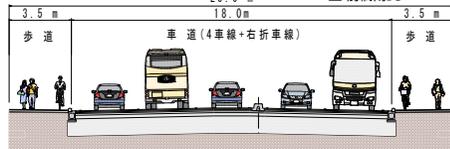
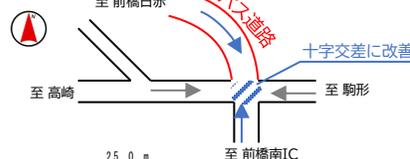
- ◆ 宮地町交差点を含むくいちがい交差区間において、朝夕の交通混雑が発生しており、円滑な通行に支障をきたしています。



県道前橋玉村線 宮地町交差点 事業前の状況

事業後

- ◆ バイパス道路を整備することで、くいちがい交差を解消するとともに、前橋赤十字病院や前橋南ICへのアクセス機能の強化を図ります。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、用地取得を進めるとともに、道路改良工事を実施します。



成果を示す項目	実施前
通過時間(くいちがい交差区間)	最大8分
渋滞長(宮地町交差点)	150m(救急車通過時)

実施後(目標)
最大2分(6分減少)
0m(150m減少)

事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

どのような未来を目指すための事業か

敷島エリアの魅力を向上させ、誰もが元気になる賑わいの場を創出するため

新水泳場を整備します

地元の声

- 生涯スポーツの拠点として使えるよう、老朽化した施設を新しくしてほしい(地元住民)
- 全国大会を開催できる屋内水泳場を整備してほしい(施設利用団体)

事業の概要

- 事業箇所: 前橋市敷島町
- 事業内容: 水泳場の建て替え
- 事業期間: 令和6年度～
- 旧水泳場: 50mプール(屋内)、飛込プール(屋外) 25mプール(屋外)、観客席1,010席
- 新水泳場: 50mプール(屋内)、飛込兼用25mプール(屋内) 観客席2,500席、ドライランド

事業前

- ◆ 施設の老朽化が進んでいます
- ◆ 水深等が最新公認基準に不適合となっています

事業前の状況

事業後

- ◆ 全国大会を開催できる競技用プールを整備し、賑わいの場を創出します

事業後のイメージ

成果を示す項目	整備前(H30)
年間個人利用者	23,000人
水深、観客席数等の最新公認基準	不適合

整備後(目標)
28,500人(5,500人増)
適合(国スポ開催)



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、旧水泳場の解体工事、新水泳場の設計を行います。



解体工事(仮囲いの設置)

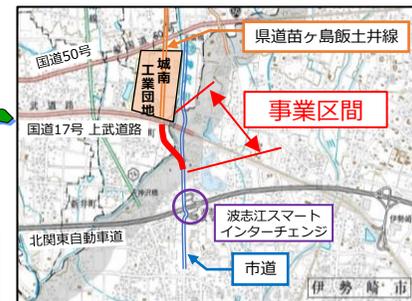
県道苗ヶ島飯土井線 (波志江スマートICアクセス) 道路新設事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

物流の効率化による地域経済の活性化を図るため

ICアクセス道路をつくります



- 地元の声**
- ・地域経済の活性化のため、城南工業団地から波志江スマートICへのアクセス性を向上してほしい。(地元住民)
 - ・上武道路との交差点の渋滞緩和、大型車が安全にすれ違える道路にしてほしい。(地元住民、地元企業)

事業の概要

- 事業箇所: 前橋市飯土井町～伊勢崎市波志江町
- 事業内容: 道路新設 延長 0.7km 道路幅 10.25m
- 事業期間: 令和元年度～
- 現在の交通量※: 7,561台/日(自動車) (R3年度)
: 7人/12h(歩行者)
- 計画交通量 : 26台/12h(自転車) ※飯土井町交差点より北側
- 計画交通量 : 7,200台/日(自動車) (R12年度)

事業前

- ◆ 上武道路以南は県道が整備されておらず、市道を介して波志江スマートICへ接続し、アクセス性に支障をきたしているため、上武道路との交差点では渋滞が発生しています。



事業前の状況

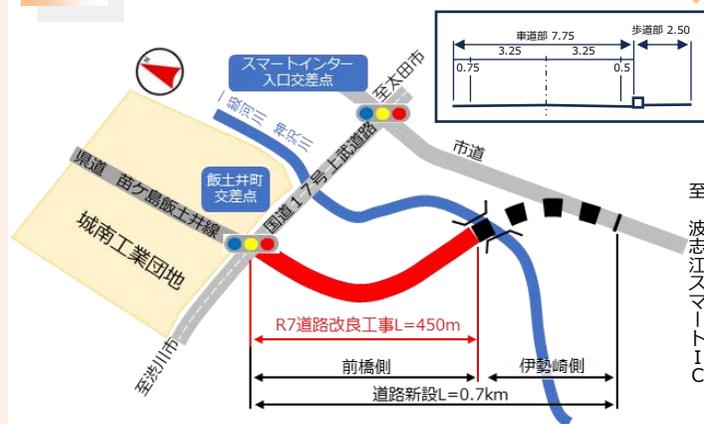
事業後

- ◆ 道路新設により、波志江スマートICへのアクセス性が改善され、移動時間が短縮します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、道路改良工事を推進します。



成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
移動時間(城南工業団地→波志江スマートIC)	8分	3分(▲5分)
飯土井町交差点(上武道路交差部)の渋滞長	150m	渋滞なし(150m減少)

事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

県道大胡赤城線（赤城温泉1工区）現道拡幅事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

道路を拡幅します

地元の声

- ・道幅が狭く大型車の通行が困難なため道を広げてほしい(地元住民・地元企業)
- ・赤城温泉などの観光地に安心して行けるルートを確認してほしい(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 前橋市苗ヶ島町
- 事業内容: 現道拡幅 延長 520m 道路幅 6.5m
- 事業期間: 令和3年度～
- 現在の交通量: 259台/日(自動車) (R3年度) 5人/12時間(歩行者) 0台/12時間(自転車)

事業前

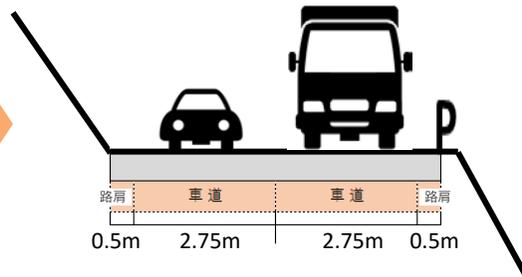
- ◆ 道幅が狭く急カーブもあり、大型車の通行やすれ違いが困難な状況です。



事業前の状況

事業後

- ◆ 道路を拡幅することで大型車の通行やすれ違いを可能にします。



事業後のイメージ

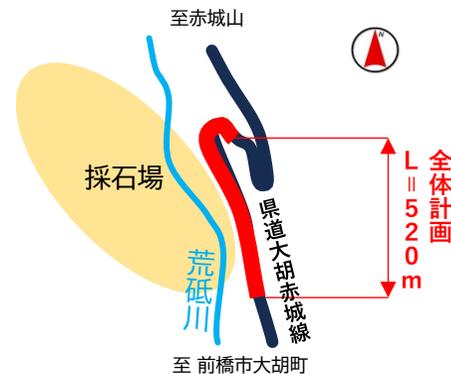
成果を示す項目	実施前
急カーブ数	1箇所
道路幅員	4.0m(大型車のすれ違い困難)

実施後(目標)
0箇所
6.5m(大型車のすれ違い可能)



事業位置
前橋市

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、用地取得を進めます。



県道前橋赤城線（小暮交差点工区）電線共同溝事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

交差点改良と電線を地中化します

地元の声

- ・こどもたちも安心して通れる広い歩道を整備してほしい(地元住民)
- ・右折レーンがないので、右折車がいると渋滞してしまう(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 前橋市富士見町小暮
- 事業内容: 交差点改良 1箇所
電線共同溝 延長400m
- 事業期間: 平成25年度～

- 現在の交通量: 6,361台/日(自動車)
(R3年度) 34人/12時間(歩行者)
46台/12時間(自転車)

事業前

- ◆ 歩道が狭く、電柱があるため、通学する児童等が路肩を歩いており、交通事故のおそれがあります。
- ◆ 右折レーンがないため、交通渋滞が発生しています。



事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道が広がり、電柱がなくなることで通学する児童等の安全な通行空間を確保します。
- ◆ 右折レーンを設置することで、交通渋滞が解消されます。



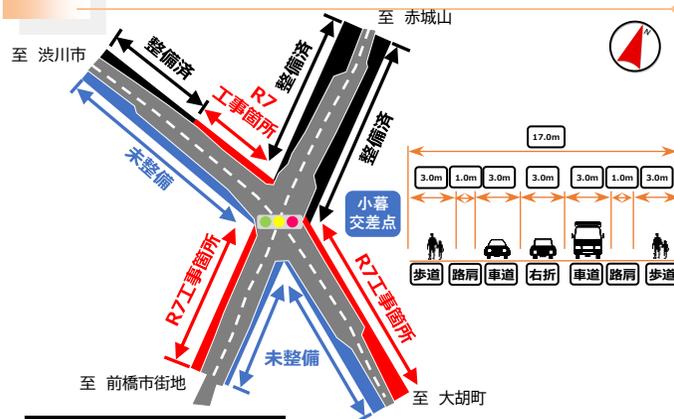
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
歩行空間を阻害する電柱	あり
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後(目標)
なし
なし



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、交差点部分における道路改良工事を行います。



電線地中化工事状況

事業のすすみ具合

事業開始 ●



● 事業完了

県道前橋大間々桐生線（城東町工区）電線共同溝事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

電線を地中化して
電柱を撤去します

地元の声

- ・歩行者の安全確保のため、早く無電柱化を進めてほしい。(地元住民)
- ・事業区間には小学校や高校があるので、通学時の安全を確保してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 前橋市城東町～三俣町
- 事業内容: 電線共同溝 延長 1,800m
- 事業期間: 平成28年度～
- 現在の交通量: 16,453台/日(自動車) (R3年度) 136人/12h(歩行者) 883台/12h(自転車)

事業前

- ◆ 歩道上に電柱があるため、通学する学生等の通行の支障となっています。



事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道上の電柱が無くなり、通学する児童等の安全な通行空間が確保されます。



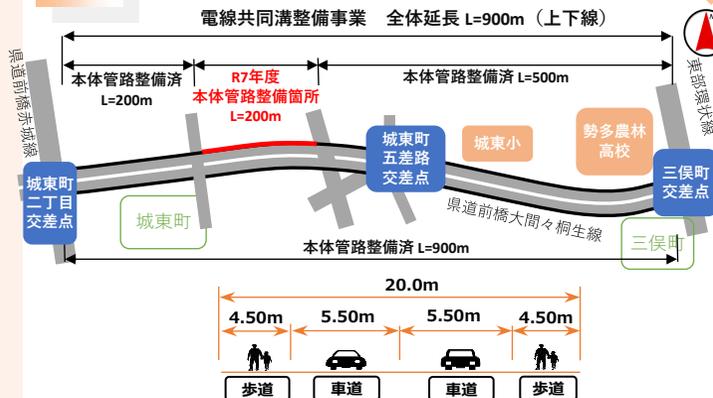
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
歩行空間の阻害のおそれ	あり
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後(目標)
なし
なし



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、引き続き電線共同溝の本体管路工事を実施します。



県道前橋赤城線（北代田工区）電線共同溝事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

電線を地中化して
電柱を撤去します

地元の声

- ・通学に利用するの児童が多いので安全な歩道にしてほしい(地元住民)
- ・歩行者の安全な通行を確保するため、歩道内にある電柱を無くしてほしい(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所:前橋市北代田町～若宮町
- 事業内容:電線共同溝 延長460m
- 事業期間:平成30年度～
- 現在の交通量:14,714台/日(自動車)(R3年度)
64台/12時間(歩行者)(H27年度)
296台/12時価(自転車)(H27年度)

事業前

- ◆ 歩道上に電柱があるため、通学する児童との通行の支障となっています。



事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道上の電柱が無くなり、通学する児童等の安全な通行空間が確保されます。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
歩行空間の阻害のおそれ	あり
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後(目標)
なし
なし

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

県道前橋赤城線（時沢工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安全して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・歩道がない箇所があり危ないので、歩く人の安全のために歩道がほしい(地元住民)
- ・車と歩行者の距離が近く危ないので、対策してほしい(地元住民)



事業位置
前橋市

事業の概要

- 事業箇所: 前橋市富士見町時沢
 - 事業内容: 歩道整備 延長900m、歩道幅員2.5m
 - 事業期間: 令和6年度～
- 現在の交通量: 6,361台/日(自動車) (R3年度) 34人/12時間(歩行者) 46台/12時間(自転車)

事業前

◆路肩が狭く、歩行者の安全な通行に支障があります。



事業前の状況

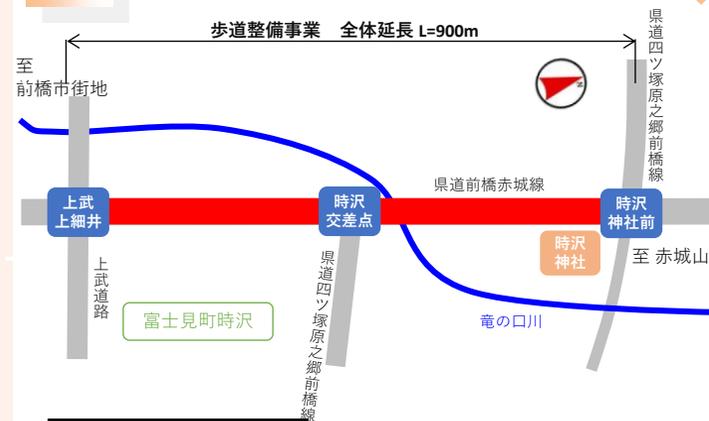
事業後

◆十分な幅の歩道が整備され、歩行者にとって安全な通行空間が確保されます。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は歩道整備に関する測量と設計を行います。



成果を示す項目	実施前
法指定通学路の歩道整備率	83%
幅員2m以上の歩道整備率	90%

実施後(目標)
100%
100%

事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

道路を拡幅し、歩道を整備します

地元の声

- ・小学校が近いので安全な歩道を設置してほしい。(地元住民)
- ・北代田町交差点で渋滞が多いため、右折車線があると良い。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 前橋市北代田町～上細井町
- 事業内容: 歩道整備 延長1,216m、幅員3.0m
電線共同溝整備 延長2,432m
- 事業期間: 平成29年度～

■ 現在の交通量: 14,714台/日(自動車) (R3年度)



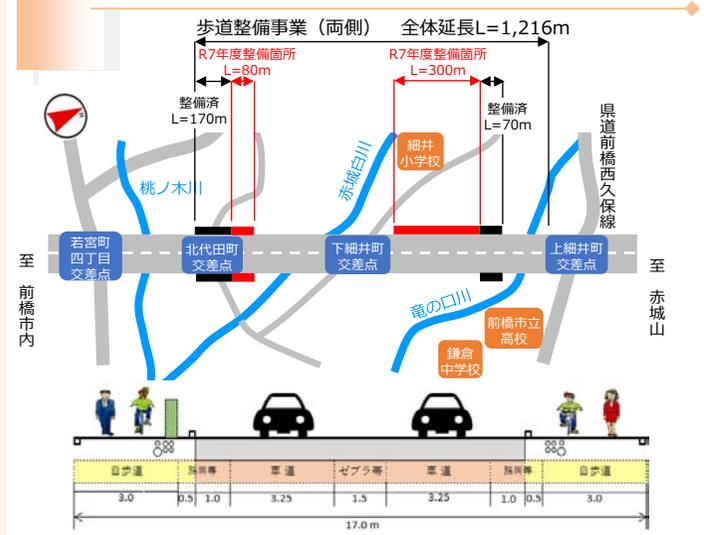
成果を示す項目	実施前
幅員2.0m以上の歩道整備率	12%
電柱倒壊のおそれ	あり
北代田町交差点の渋滞長	350m



実施後(目標)	
幅員2.0m以上の歩道整備率	100%
電柱倒壊のおそれ	なし
北代田町交差点の渋滞長	0m



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、用地取得を進めるとともに歩道整備や電線共同溝工事を実施します。



(都) 敷島公園大師線 (2期工区) 歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

道路を拡幅し、歩道を整備します

地元の声

- ・歩行者の安全面を考えると、歩道を設置してほしい。(地元住民)
- ・災害時に電柱が倒れて道路が通行できなくなることが不安だ。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 前橋市青柳町～上細井町
- 事業内容: 歩道整備 延長1,268m、幅員2.0m
電線共同溝整備 延長2,536m
- 事業期間: 平成27年度～
- 現在の交通量: 13,517台/日(自動車)
(R3年度): 153人/12時間(歩行者)
: 446台/12時間(自転車)

事業前

◆道路が狭く、通学する生徒等の安全な通行に支障があります。



事業前の状況

事業後

◆道路を広げ歩道等を整備することで、通学する生徒等の安全を確保します。



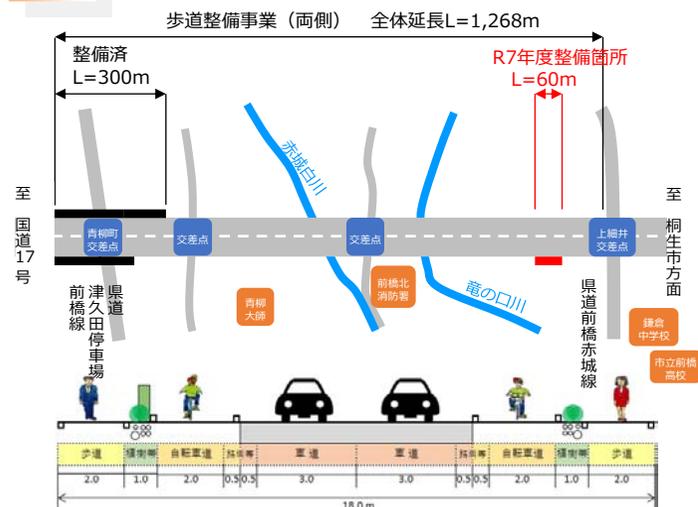
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
幅員2.0m以上の歩道整備率	54%
電柱倒壊のおそれ	あり
安全な自転車通行空間	なし

実施後(目標)	
幅員2.0m以上の歩道整備率	100%
電柱倒壊のおそれ	なし
安全な自転車通行空間	あり



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、用地取得を進めるとともに、道路改良工事及び補償工事(用水暗渠化)を実施します。



R7道路改良工事予定箇所

事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了